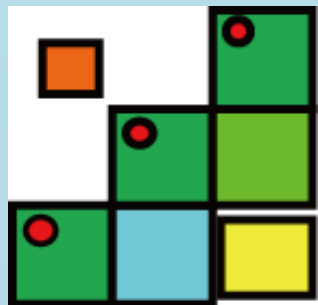




国臨協新潟地区会会報

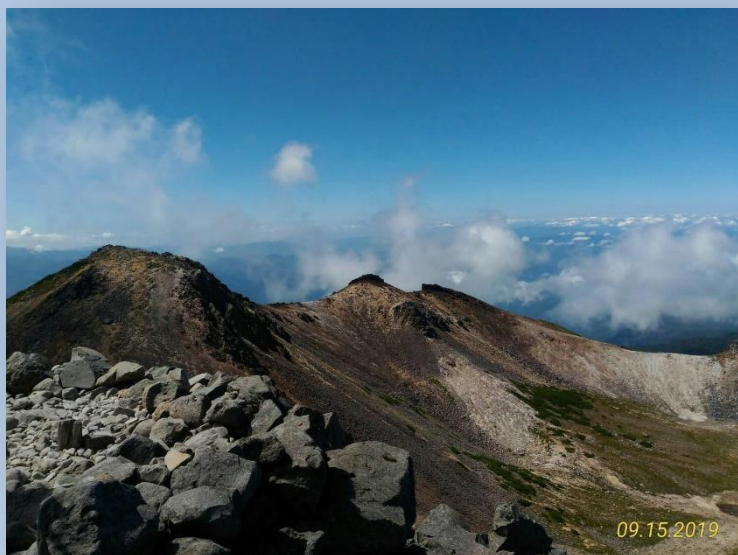
# 朱鷺っと

2019年10月発行  
第87号

発行者：竹内 智明(さいがた)  
編集委員：磯 敬(新潟)  
加藤 輝(西新潟)  
加藤 梨紗(新潟)



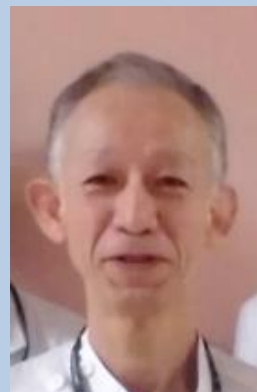
新潟市より眺望できる山（左：弥彦山・右：角田山）と稲刈り後の田園  
2019年10月9日撮影



乗鞍岳 山頂より撮影



# 会長挨拶



平成30 年度(第 39 回)新潟地区会総会・研修会に向けて

国臨協関信支部 新潟地区会会長  
NHOさいがた医療センター 竹内 智明

平素より会員の皆様には新潟地区会の活動に対しご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

平成 30年度の当地区会は、地区会会長・副会長と関臨技長会新潟地区会長・事務局との併任による新たな体制によりスタートいたしました。その後、本年4月1日付の人事異動では、定年退職2名のほか転出が3名あり、4月からは4名の新会員を加え、9月30日現在23名で活動を行っております。今年度も定期総会において承認された事業方針に基づき、例年と同様に施設相互の交流と会員の親睦を図ることを主な目的として活動を行って参りました。

6月の地区交流会には14名の会員の皆様に参加いただき新潟市にあります創業1767年の今代司酒造で酒造見学を行いました。見学後は新潟市中央区関谷浜のSea Point NIIGATAへ移動しバーベキューを楽しみました。当日は海岸でのビーチテニスも計画していましたがあいにく小雨となり室内で親睦を深めました。9月の支部学会では地区会コーナーへのポスター掲示を行いました。今年のテーマ「検査科自慢」に沿って各病院の自慢と来年新潟で開催される総合医学会のお知らせも入れ新潟地区会をアピールいたしました。

また、今年12年目を向かえたエコノミークラス症候群予防検診では、7月の新潟病院をはじめ、10・11月に小千谷、十日町で行われる検診にも会員の方々がボランティアとして参加ご協力いただけると聞いております。

本年度の研修会では関信支部学術委員会一般部門長の田原彩華先生に「尿沈渣について～夜間・休日時の尿沈渣の見方～」と題して、また関東信越グループ医療担当 臨床検査専門職の北沢敏男先生には「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」と題しご講演いただきます。また、定期総会には関信支部より岩崎康治支部長にもご出席いただきます。総会終了後は情報交換と親睦を兼ねて、犀潟駅前にて親睦会を企画しています。北沢専門職や関信支部役員の方々にもご出席いただく予定となっていますので、是非交流を深め活発な地区会活動に役立つよう多くの会員皆様の出席をお願いいたします。

最後に、これからも会員皆様のお役に立てるよう理事共々努力するとともに、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

# 国臨協新潟地区会 定期総会・研修会

日 時 : 令和元年 10 月 19 日(土) 13 : 00 ~ 受付開始

場 所 : 国立病院機構さいがた医療センター 講堂 ( 2 階 )

会 長 : 竹内 智明 (さいがた医療センター)

## 日 程

1. 受付 13 : 00 ~ (2 階 講堂 入口にて)

2. 研修会 13 : 30 ~ 15 : 40

司会 新潟病院 副臨床検査技師長 磯 敬

講演Ⅰ 『尿沈渣について～夜間・休日時の尿沈渣の見方～』

関信支部 学術委員会 一般部門 部門長

千葉東病院 田原 彩華 先生

(休憩 14 : 30 ~ 14 : 40)

講演Ⅱ 『伝達事項ならびに会員の皆様に向けて』

関東信越グループ医療担当 臨床検査専門職

北沢 敏男 先生

3. 定期総会 15 : 50 ~ 16 : 50

4. 懇親会 17 : 30 ~ 19 : 30 (送迎バス 病院前 17 : 15発)

会 場 割烹『かねたまいち』

上越市大潟区犀潟602-31 TE 025-534-2303

# 新潟地区会 懇親会について

日 時 : 令和元年 10 月 19 日(土) 17:30 ~

場 所 : 割烹 かねたまいち

新潟県上越市大潟区犀潟 602 - 31 TEL : 025 -534 - 2303

犀潟駅前信号 右折すぐ

会 費 : 会員 4,500 円

(2 時間飲み放題コース 5,000 円(税込) ※会費補助 500 円)

備 考 : 地区会総会後に店のバスまたは自家用車で移動

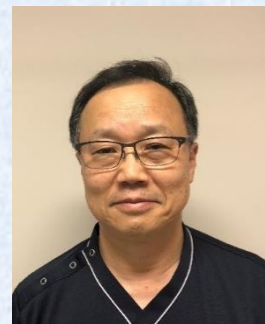
さいがた医療センターよりバス送迎あり(5分程度)

店駐車場は 3 ~ 4 台程度のためなるべくバスをご利用ください



# 第93回新潟県臨床検査学会 抄録

## てんかん患者の脳波検査記録中における 発作対応と意識確認の構築



NHO 西新潟中央病院  
山本 直樹

【はじめに】てんかん発作を記録する目的はてんかん発作と非てんかん発作の鑑別、全般発作と焦点性発作の鑑別など診断や治療方針の決定に重要な情報となる。現在の脳波計はビデオ映像も同時に記録できるデジタル脳波装置が主流となっており映像も後で確認できるようになっているが、発作は予期せぬ時に起き慣れていなければ対応に戸惑うことがしばしばある。発作時の簡単な対応や意識確認は実施しているが、各々の技師で患者アプローチも異なることも多く統一されていない現状である。今回、脳波検査中に発作が起きた場合にどのように観察、介入すればよいかを発作型から観察の要点を見だし個人差がでないようマニュアル作成を試みたので報告する。

【方法】全国てんかんセンター協議会で作成したビデオ「長時間ビデオ脳波モニタリング中の発作への対応」を参考にし、当院で経験するてんかん発作型の分類の中で頻度の高い＜Ⅰ型＞意識障害を伴う発作（部分発作）。＜Ⅱ型＞強直間代発作（全般発作）＜Ⅲ型＞小児欠神発作（全般発作）＜Ⅳ型＞視床下部過誤腫由来の笑い発作（部分発作）の4つの型に対して記憶や非言語性、神経症状を伴う動作確認など、発作中～回復期～発作後までの基準となる対応法、確認項目及び進め方フローチャートを作成した。

【結果】＜Ⅰ型＞意識障害を伴う発作の対応：発作中①記憶の確認では単語を覚えてもらう。②非言語性の確認では物を見せ覚えてもらう。③神経症状の確認では上下肢の麻痺具合、手、口の自動症の有無を確認する。④反応性については視線や会話など確認をする。回復期①見当識の確認：ペンを見せ呼名と使用法を答えてもらう。②簡単な計算と読字に答えてもらう。③発作中の行ったことを自発的に思い出してもらい言葉や見せた絵について答えてもらう。＜Ⅱ型＞強直間代発作の対応：意識消失の突然の痙攣から始まるため①眼球、顔面の左右差確認。②四肢の伸展、屈曲の確認。③脱力→回復までの声かけによる意識確認をする。＜Ⅲ型＞小児欠神発作の対応：発作中①色名変えながら連呼する。回復期②記憶の確認として覚えている色を答えてもらう。＜Ⅳ型＞視床下部過誤腫を伴う笑い発作の対応：①呼名による意識の確認とカメラズームアップによる詳細な顔表情の記録。また、各型の共通対応として①布団をはぎ取り周囲から危険な物を取り除く。②観察した症状を声に出し記録する。③長時間に及ぶ発作では応援者を呼ぶ。バイタルチェックを行う。

【考察・まとめ】発作中の患者の意識状態、記憶、神経症状などは必ずしも脳波やビデオから判断できるとは限らない。脳波検査にかかわる技師ひとりひとりが発作症状にあった対応ができることにより詳細な発作症状も見逃すことなくビデオに残すことができ臨床側にも有用な情報源になる。日頃から発作にでくわしても慌てずに対応できるよう慣れることも必要であるが、今回作成したマニュアルを使用する事で技師の対応に一定の水準を担保できると考える。

今後は病棟で行われている長時間ビデオ脳波モニタリングにおける対応においても看護部と連携し進めて行きたい。

# 第93回新潟県臨床検査学会 抄録

## 過去6年間の当院における MACの分離状況とCAM耐性株についての検証



NHO 西新潟中央病院  
加藤 輝

【はじめに】結核の罹患率が減少傾向であるが、近年、非結核性抗酸菌症が増加していると言われている。今回我々は、過去6年間の当院における*Mycobacterium avium complex*(以下、MAC)の分離状況とMAC症治療のキードラッグであるCAMの耐性株についての検証を行ったので報告する。

【対象と方法】2013年1月から2018年12月までの6年間に分離された同定・薬剤感受性検査を実施したMAC 519株を対象とした。PCR法(コバスTaqMan48, ロシュ・ダイアグノスティックス)にて*Mycobacterium avium*(以下、MAV)・*Mycobacterium intracellulare*(以下、MIN)の同定を行い、微量液体希釈法(ブロスミックNTM, 極東製薬工業)にてCAM, RFP, EB, LVFXの薬剤感受性検査を実施した。

【検討1】519株中、重複削除した475株にて分離数, 菌種の比, 男女比, 年齢別, 薬剤感受性結果について集計した。薬剤感受性結果は, MIC値分布を集計した。カテゴリー判定は, CLSI M24-A2に準拠しCAMのみを行い, 感性率の年次推移を調査した。

【検討2】519株中, 薬剤感受性検査を複数回実施した症例(MAV:30例, MIN:5例)において薬剤感受性結果と抗菌薬投与歴について調査した。

【結果1】年次分離推移は, 113株, 106株, 81株, 61株, 67株, 47株であった。菌種の比は, MAV 77.1%, MIN 22.9%であった。MACにおけるMAVの割合(年次推移)は, 77.9%, 76.4%, 74.1%, 78.7%, 73.1%, 72.3%であった。男女比は, MAVが男性39.2%, 女性60.8%, MINが男性40.0%, 女性60.0%であった。MAV全体の79.4%が60~80代, MINでも85.5%が60~80代の高齢者から分離された。薬剤感受性検査の各抗菌薬のMIC値分布のピークは, MAVにおいて, CAM:0.5 $\mu$ g/mL, RFP:1 $\mu$ g/mL, EB:8 $\mu$ g/mL, LVFX:1 $\mu$ g/mLで, RFPとLVFXに年次によるばらつきを認めた。MINにおいて, CAM:0.125 $\mu$ g/mL, RFP:0.06~0.125 $\mu$ g/mL, EB:2 $\mu$ g/mL, LVFX:1 $\mu$ g/mLで, 年次推移に変化はなかった。MAVにおけるCAM感性率の年次推移は, 86.4%, 92.6%, 88.3%, 91.7%, 83.7%, 94.1%, MINでは, 92.0%, 100%, 85.7%, 84.6%, 88.9%, 92.3%であった。

【結果2】MAV 30例中, 6例にて各抗菌薬のMIC値上昇を認めた。この6例中, 4例はCAM耐性化を認め, その内1例は, LVFXのMIC値が4 $\mu$ g/mLから0.5 $\mu$ g/mLに変化していた。MIN5例中1例にて, CAM・RFP・EB・LVFXのMIC値上昇を認めた。

【考察・まとめ】今回の調査では, 過去6年間のMAC分離数は, 減少傾向であった。男女比・年齢別から中高年女性からの分離が多いことが示唆され, MAC症の特徴と一致していた。MIC値を比較すると全ての抗菌薬においてMAVよりもMINの方が低値であった。CAM耐性化かつLVFXのMIC低値の症例は, 初感染時に元々多クローン感染し, CAMの投与にて耐性株だけが残った, あるいは別の耐性株による再感染が推測された。今後, ますますMACの動向を注目すべきである。

# 第47回国臨協関信支部学会 地区会ポスター



## 新潟地区会 「検査科自慢」



### 新潟自慢大花火大会

上越まつり大花火大会(直江津地区) ぎおん柏崎まつり海の大花火大会



新潟まつり花火大会(新潟市)



長岡まつり大花火大会



### 平成30年度 新潟地区会交流会



### 第74回 国立病院総合医学会

会期:2020年10月16日(金)・17日(土)

会場:朱鷺メッセ

会長:中島 孝(新潟病院 院長)

来年是非、新潟にお越しください!!



花火大会は好評でしたが、入賞はできませんでした。ご協力ありがとうございました。

# ～自分流車の楽しみ方～

車の楽しみといえば人それぞれだと思いますが、眺める、愛でる、弄る、走らせると言ったところでしょうか？

車は凝りだすと、とにかくお金がかかります。弄る、走らせるはその最たるものですが、一見あまりお金の掛かからなそうな、愛でるにしても特に濃色車の場合、艶、深み、水玉の弾き方などワックスもこだわりだしたら結構バカになりません。

昨今話題になっているセクシー発言ですが、黒のボディーに妖艶な艶、車に例えると妙にしっくりきませんか？

ともあれお金のない小生としては眺める、これに尽きます。

最近は時間も行動力もなくなってきましたが、それでもたまに気が向くと中古車店中心にぶらりと見に行くことがあります。

たまたまレアな旧車と出会えたりすると、とても懐かしく、又歳月の流れを感じたりでセンチメンタルな気分になったりもします。直ぐにでも家に連れて帰りたい衝動に駆られますが、叶はずもなく、とにかく舐めるように眺めたおす（変態？）、余韻に浸りながら家にかえり出会いに感謝しながら旨い酒をチビリ、これも又一興である。

新車のショールームばかり見歩いているブルジョア（死語？）の方は気づいていないかも知れませんが、ここ数年中古車の値段がおかしな事になっている事にお気づきの方も多いかとおもいます。

漫画の頭文字Dや映画のワイルドスピードの影響でAE-86・レビン・トレノ、スカイラインGT-R、ランサーエヴォリューション（通称ランエボ）、FC・FD-RX7、S-2000等挙げればまだまだ沢山あります。R-32・GT-Rなどは10年位前には、それこそ探せば100万円を切るものもあり、中古車としては妥当な価格で出回っていましたが、いまでは販売終了から25年以上断っているにも関わらず最低でも200万からといった現状です。この手の特殊な車は海外需要の高騰もあり高値で推移するものと思われます。

お金に余裕のある方、車に興味のある方、株など現実的ものに投資するのも結構ですが、もっと夢のある車に投資してみませんか？

今の若い世代はあまり車に興味がないと言いますが、この手の名車が日本から消えてしまうことがないように、漫画や映画だけの世界の車になってしまわないように、次の世代に1台でも多くの実車を残せるように願います。

小生も一攫千金宝くじの購入に励みます。 買わないという選択肢はないやろ～！

# 今後の活動予定

## ◆地区会定期総会・研修会

日程：令和元年10月19日（土）

担当：さいがた医療センター

## ◆『朱鷺っと』 発行

令和2年1月 予定



## 編集後記

夏も終わり、だんだんと涼しくなり秋の気配を感じる日々になってきました。秋と言えば食欲の秋ですが、私にとって秋は釣りのハイシーズンに突入です！先日もアジやアオリイカを釣ってきました。毎週末が楽しみです。

さて、今回で今年度、最後の『朱鷺っと』発行となります。平成から令和への節目の年に会報の編集に携わることができ、皆様のご協力のおかげで最後まで務めることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新潟地区会事務局

NHO西新潟中央病院 臨床検査科内

TEL:025-265-3171（内線5106）